

第29回化学工学会九州支部学生賞審査会 報告

令和6年7月20日に第29回化学工学会九州支部学生賞審査会が開催されました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程6名、修士課程9名が審査会において研究発表を行い、8名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は2名、修士課程の部は3名の方に決定しました。発表した学生諸君の研究への理解、プレゼンテーション能力の高さ、明快な回答など、どれもレベルの高いものが多く、今後ますますの飛躍が期待される審査会となりました。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様、心より感謝申し上げます。

【博士課程の部】

DC02 神園 麻裕 (九州大学)

「疎水性深共晶溶媒を用いた自動車触媒リサイクルプロセスの開発」

DC06 山下 祐典 (鹿児島大学)

「滅菌操作を利用したキトサンゲルのワンステップ製造法の開発」

【修士課程の部】

MC01 橋口 直紀 (九州工業大学)

「液滴衝突における液滴内部のフレーク粒子挙動の観察および数値解析」

MC07 半田 幸太郎 (鹿児島大学)

「固/気界面形成による高エチレン選択性実現へ向けたCO₂電解還元用セルの開発」

MC08 下川 拓能 (鹿児島大学)

「顎骨再建のための多機能性骨被覆材の開発」

審査員氏名 (敬称略、順不同)

鈴川一己、中澤浩二、斎藤泰洋、櫻木美奈、川喜田英孝、瀬戸弘一、永井杏奈、田中 学

(九州支部庶務幹事 B 田中 学)

【当日授与式における受賞者と支部長の集合写真】

